

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第12号）のトピックス

****流行警報発令中****

- 8週(2月20日～26日)のインフルエンザ患者報告数は 13,963人、
 定点当り 33.32人（昨年同期 定点当り 16.47人）で、先週の約80%に減少
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例は579件
- 19都道府県でインフルエンザ定点当りの患者報告数が30人を超える
- 第8週における東京都の流行規模は、全国で11位

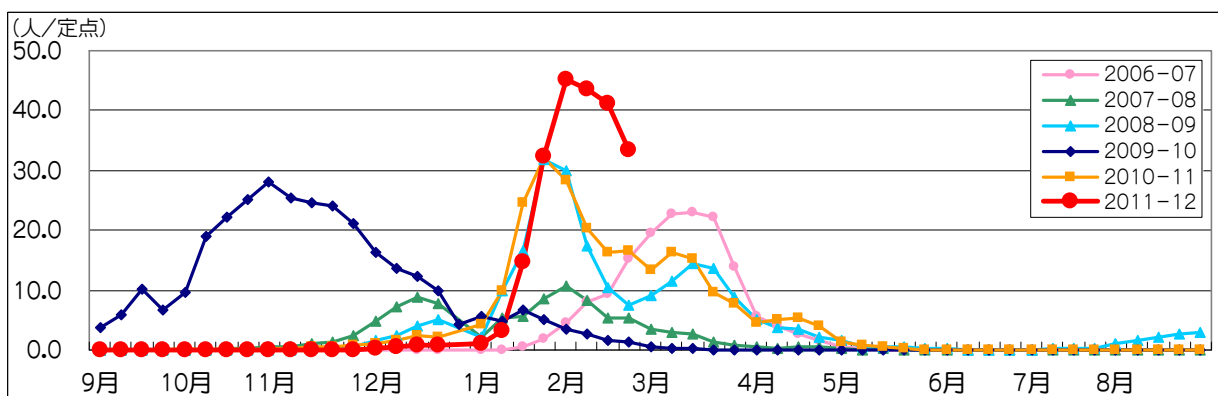


図1. インフルエンザ定点*当り患者報告数の推移（東京都）

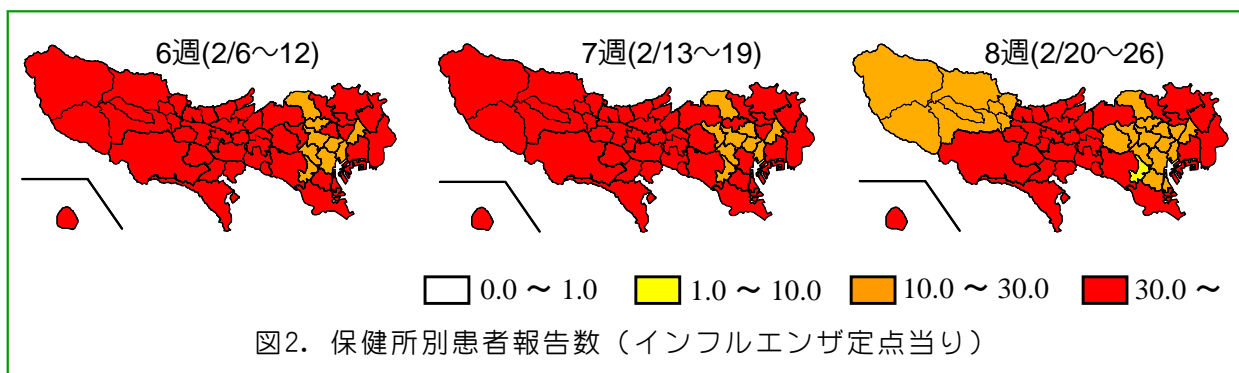


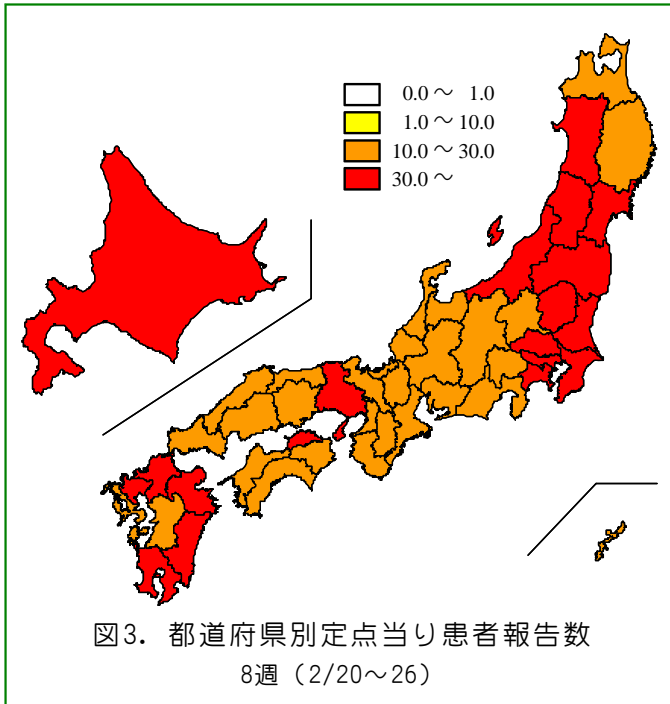
図2. 保健所別患者報告数（インフルエンザ定点当り）

1 インフルエンザ患者発生状況 第8週（2月20日～26日）

【東京都】インフルエンザ定点からの患者報告数は 13,963人、定点当り 33.32人と先週（41.15人/定点）の約81%になりました（図1）。島しょ（55.50人/定点）、町田市（52.38人/定点）、多摩小平（50.09人/定点）をはじめとする16保健所管内で定点当りの患者報告数が30人を超えています（図2）。

【全国】患者報告数は 143,267人、定点当り 29.04人です。全国は先週（35.44人/定点）の約82%になりました。埼玉（45.29人/定点）、秋田（44.20人/定点）、大分（41.36人/定点）をはじめとする19都道府県で定点当りの患者報告数が30人を超えています（図3）。東京

*:インフルエンザ定点
419か所（全国約5,000か所）の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。
**:基幹定点
25か所（全国約500か所）の医療機関を「基幹定点」として指定しています。



(33.32人/定点)の流行規模は全国で11番目になっています。

2 インフルエンザ集団感染等発生状況

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例が8週に579件(内訳; 幼稚園・保育園155、小学校346、中学校51、高校7、その他の学校1、社会福祉施設13、医療機関2、その他の施設4)報告されました。

3 インフルエンザ入院患者発生状況

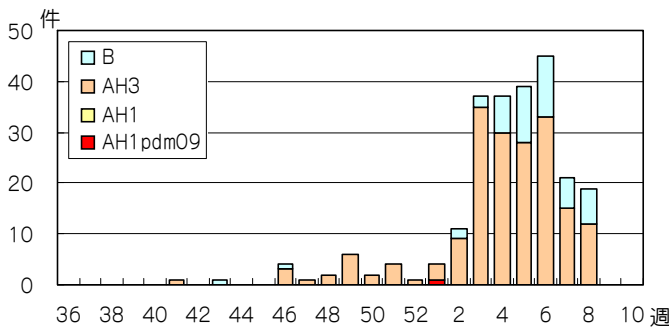
基幹定点**より8週に68件(2.72人/定点)の報告がありました。年齢階級別では、9歳以下が34件(50.0%)、60歳以上が22件(32.3%)となっています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1pdm09	AH1	AH3	B
36-4週(9/5-1/29)	385	111	1	0	97	13
5週(1/30-2/5)	62	39	0	0	28	11
6週(2/6-12)	54	45	0	0	33	12
7週(2/13-19)	31	21	0	0	15	6
8週(2/20-26)	33	19	0	0	12	7
合計			1	0	185	49

4 東京都の検査情報

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から、8週にAH3亜型12件とB型7件が検出されています(表1、図4)。また、定点医療機関以外から搬入された検体からは、インフルエンザウイルスは検出されていません。



5週から8週の直近4週間(1月30日~2月26日)に検出されたインフルエンザウイルスの型別検出割合をみるとAH3亜型が71%と最も多くなっていますが、B型の割合が増えてきています。(図5)。

図4. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、3月1日までに、5都道府県からAH1pdm09亜型6件、45都道府県からAH3亜型2,827件、42都道府県からB型475件が報告されています。

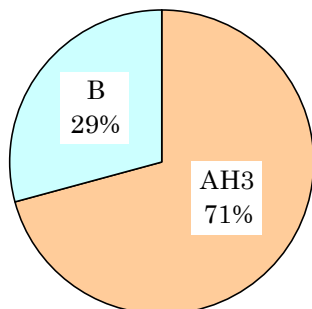


図5. 型別検出割合
直近4週間
(5~8週、センターに搬入された全検体のうち陽性となった124件の内訳)

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/